



40 歳からの介護知識 2

介護は、ある日突然に…

「あなたのお母さんが、警察に保護されました。」

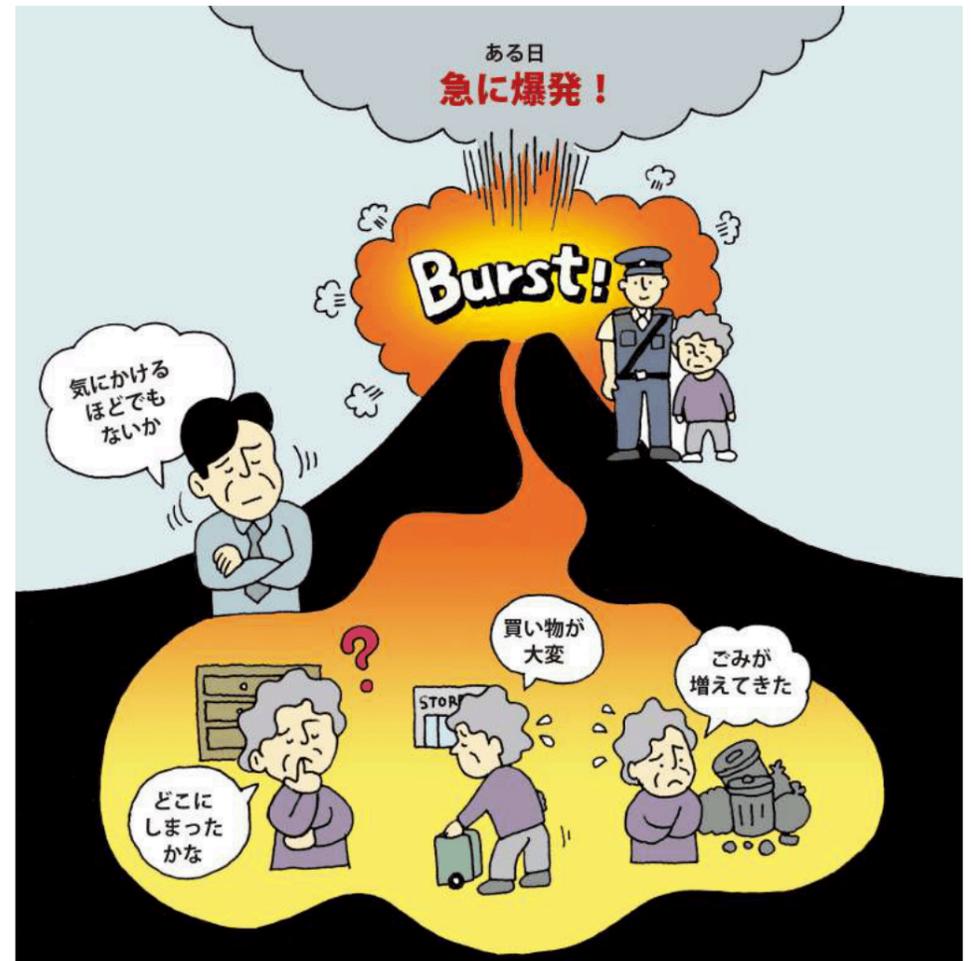
それは一本の電話から始まりました。どうやら「急に」認知症がはじまったようです。

親の介護を体験した人の多くが口にするのは「ある日、突然、介護が必要になった」ということ。

そして多くの人は、慌てていろいろなことを調べたりするものの、

「必要な情報」にたどりつかず、どうしていいかわからないまま、時間が過ぎていくようです。

まずは「突然やってくる介護」に備えて、最低限、何をしておくべきか知っておきましょう。



【1】介護は「急に」やってくる。

「先週まで、何ともなかったのに…」

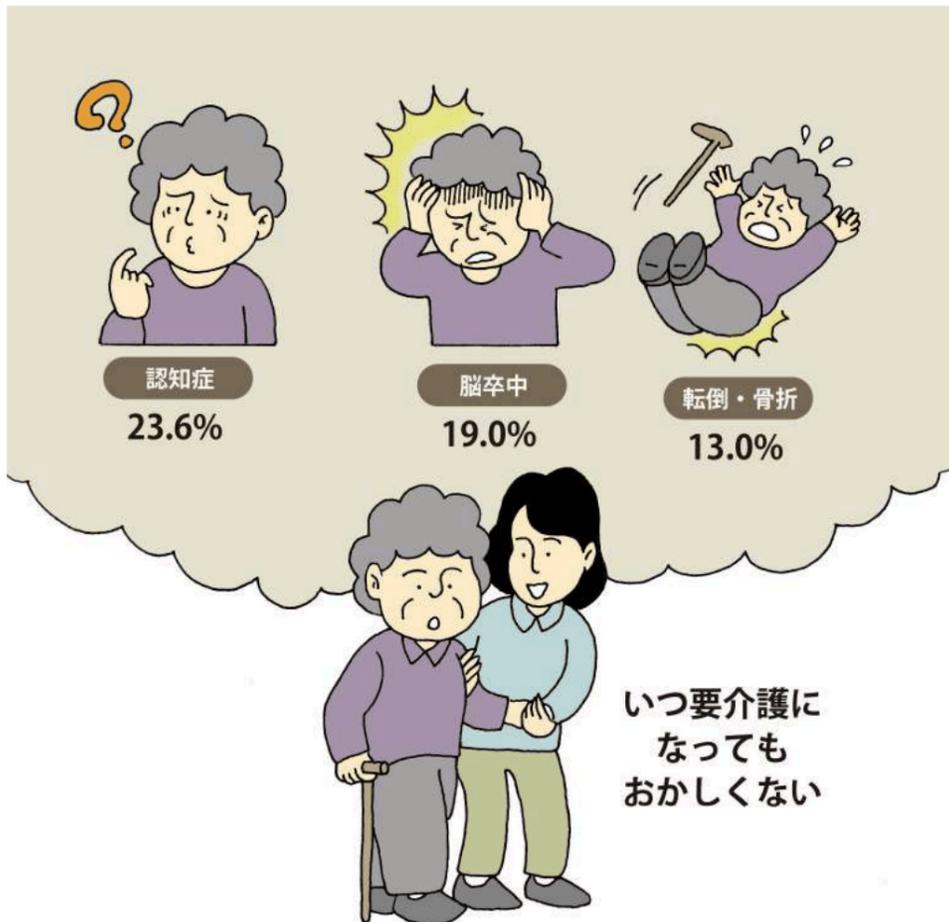
そう見えても、認知症はまるで波のように、何ごともない時もあれば、ひどい時もあります。

「気にかかるほどでもないか」という、小さな「あれ？」をくりかえし、少しずつ症状が進行し、ある日、それは急に「現象」として表れます。

徘徊で保護されたり、夜中に騒いで近隣に迷惑をかけたり、被害妄想で他人を疑ったり…。

まるで見えない所でマグマが沸々と湧き、ある日突然、噴火するかのように。

周りの人にとっては、「突然、介護がやってきた」となるわけです。



【2】介護の「きっかけ」上位3つを占めるのは…？

突然介護が必要になる理由は、必ずしも認知症だけとは限りません。

介護が必要になった「きっかけ」を調べてみると(朝日生命調べ)、

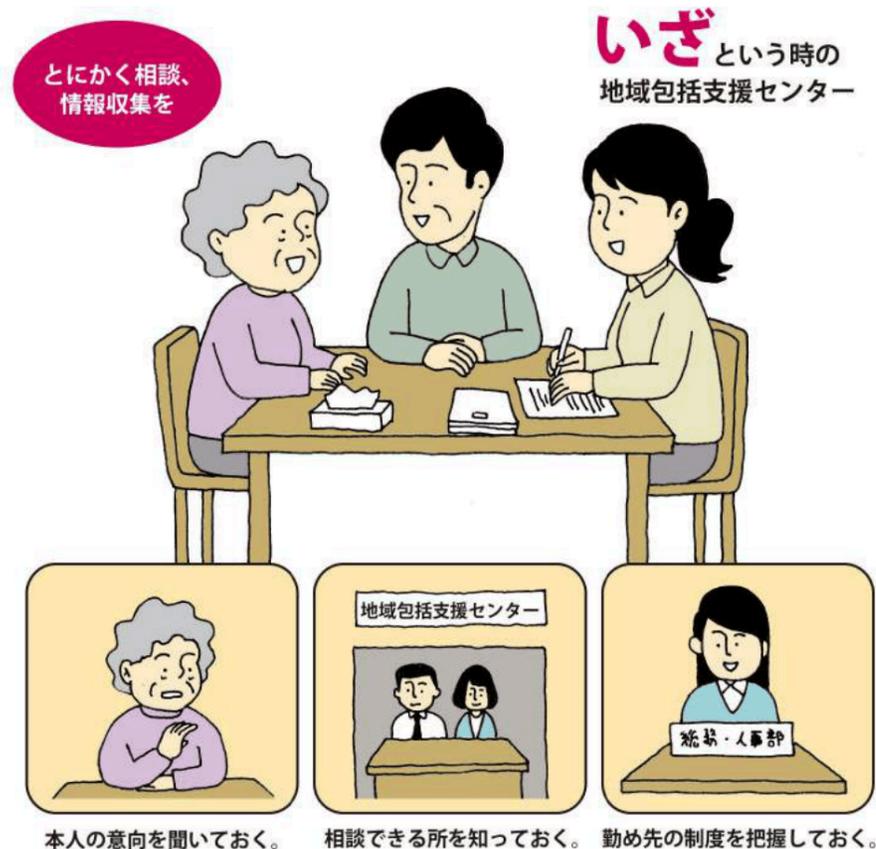
【1位】認知症(23.6%)

【2位】脳血管疾患(いわゆる脳卒中：19.0%)

【3位】転倒・骨折(13.0%)

…と、いつおこるかもしれない要因がほとんどです。

今は元気に暮らしていても、明日突然、親に介護が必要になるかもしれません。



【3】突然の介護に備えて、今、できること。

では急な介護にそなえて、今、最低限のようなことを準備しておくといよいのでしょうか？

【1】(できれば)本人の意向、介護についての考え方を聞いておく。

【2】介護について相談できる所を知っておく。

→(親の)お住まいの地域の「地域包括支援センター」を調べておく。

【3】勤務先の制度(家族の介護についてのサポート体制)を確認しておく。

以上の3つのポイントが重要になります。

まだ親が元気だったとしても、ご家族で「もしも」の時のことを話し合っておきましょう。